

漏水検知システムによる異常検知に係る対応の経緯

○平成 22 年 10 月 4 日(月)8:30、次の事項を確認

- ・10/2(土)17:00、10/3(日)9:00 及び 17:00 の漏水検知システムの結果判定図で異常検知(高電流値)地点が最高 12 地点(別添 1)

○同時に、次のとおり判断

- ・異常検知地点付近での遮水シートを損傷するおそれのある作業は 8 月上旬以降行っていないこと
- ・検知電流値が最高の 50mA 以上を示しており、当センターの現状における想定値の 6mA 前後と比較し、異常に高いこと
- ・高電流値地点が最高 12 地点と多数であること
- ・地下水集排水管モニタリング人孔に通水がなく、地下水観測井 2 号で水質(pH、電気伝導率の連続測定結果)にも変動がないこと(漏水なし)

から遮水シート破損とシステム誤作動の両面で確認作業を実施

○同日 17:10~19:30、漏水検知システムのメーカーによるシステム点検を実施(一部未実施)

- ・管理棟から埋立地付近までの間(屋外の電極ターミナルボックス及び埋立地地上配線を除く)に同システム上の異常なしを確認

○同日 19:40、次のとおり判断し、関係機関へ連絡

- ・漏水検知システムの確認結果からシステム誤作動より遮水シート破損の可能性の方が高まったため、翌 10 月 5 日からの廃棄物搬入を中止し、原因究明調査に着手

○平成 22 年 10 月 5 日(火)9:00、地下水集排水管モニタリング人孔に通水なし、地下水観測井 2 号で水質(pH、電気伝導率の連続測定結果)に変動なし(漏水なし)を確認



毎日実施中。現在まで通水・変動なし(漏水なし)を確認。(別添 2, 3)

○同日 9:00~9:30、北杜市が来所

- ・当センターから検知状況、対応状況を説明

○同日 9:00~15:00、中北林務環境事務所及び環境整備課が来所

- ・当センターから検知状況、対応状況を説明
- ・中北林務環境事務所及び環境整備課から廃棄物監視指導(注意)票が交付

○同日 12:00~21:00、安全管理委員の 8 区長へ検知状況、対応状況を報告

○同日 13:30、記者発表

○同日 13:30~15:00、一部未実施となっていた漏水検知システムの電極ターミナルボックス及び埋立地地上配線を点検

- ・電極ターミナルボックス及び埋立地地上配線に異常はなく、システム誤作動の可能性がほとんど無くなり、埋立地内における遮水シートの破損のおそれが高まる

○同時に、設計業者、建設時の関係業者と原因究明調査(掘削調査)方法等について検討を開始

【原因究明調査及び今後の対応に係る基本方針】

1. まずは、漏水検知システムにより異常が検知された地点のうち、遮水シート破損の可能性が特に疑われる地点を中心に掘削し、遮水シート等を調査確認し、異常検知の原因を究明することとする。
2. 原因に応じた適切な措置を講ずるとともに再発防止を図ることとする。
3. 掘削作業に際しては、アスベスト粉じんの飛散防止等を徹底し、生活環境保全上の支障が生じないよう十分な措置を講ずることとする。

○平成 22 年 10 月 7 日(木)9:30~16:40、地下水観測井 1~3 号及び浸出水の水質検査を実施

- ・地下水モニタリング人孔は通水なしのため欠測、その他は有害物質等全項目に関して測定

○平成 22 年 10 月 19 日(火)18:50、地下水観測井 1~3 号及び浸出水(比較用検体)の水質検査結果(10 月 7 日実施)が判明

- ・分析中のダイオキシン類を除き、地下水観測井 1~3 号の全てで環境基準(有害物質の濃度基準)を十分にクリアー(漏水なし) (別添 4)